

令和6年度生徒による自己評価アンケート

令和6年度保護者による学校評価アンケート

令和6年度教職員による自己評価アンケート

昨年度比較並びにアンケート分析

鹿児島県立屋久島高等学校

番号	生徒 質問項目 回答率 (84.2%)	R5	R6	前年度比
1	毎日の授業にしっかり取り組んでいる。	3.1	3.3	0.2
2	宅習時間をしっかり確保している。	2.3	2.3	0.0
3	提出物は期限までに提出している。	2.9	2.6	-0.3
4	進路実現のために努力している。	2.9	2.9	0.0
5	勉強と部活動を両立できるよう努力している。(※部活動生のみ答えてください。)	2.9	3.0	0.1
6	校則はいつでもしっかり守るようにしている。	3.5	3.6	0.1
7	交通ルール等はしっかり守るようにしている。	3.7	3.8	0.1
8	校内の清掃時間は時間一杯取り組んでいる。	3.4	3.5	0.1
9	人に会ったら挨拶をするように努めている。	3.5	3.6	0.1
10	学校からのプリント類は必ず保護者に見せている。	3.1	3.1	0.0
11	学校行事に積極的に参加している。	3.5	3.5	0.0
12	悩み等は誰かに相談し、解決するようにしている。	3.0	3.1	0.1
13	健康管理に気をつけている。	3.2	3.3	0.1
14	学校生活に満足している。	3.2	3.3	0.1
15	スタディサブリが学習を支援するツールになっている。	2.7	2.7	0.0
16	スタディサブリを課題以外の学習自習に役立てている。	2.4	2.4	0.0

番号	保護者 質問項目 回答率 (52.1%)	R5	R6	前年比較
1	屋久島高校は雰囲気良く、生徒がいいきと活動している。	3.5	3.2	-0.3
2	屋久島高校は独自の教育活動に取り組んでいる。	3.4	3.2	-0.2
3	屋久島高校は生徒の持てる能力を十分に引き出している。	3.1	3	-0.1
4	屋久島高校は個々の生徒の進路実現のために的確に対応している。	3.2	3	-0.2
5	屋久島高校は交通安全指導・生徒指導を適切に行っている。	3.1	2.8	-0.3
6	屋久島高校は学力向上をめざして的確な対応をしている。	3.1	3	-0.1
7	屋久島高校は校内美化や掃除の徹底に努めている。	3.3	3.1	-0.2
8	屋久島高校は適切な職業意識・勤労意識を育む教育に取り組んでいる。	3.0	2.9	-0.1
9	屋久島高校は豊かな心を持った生徒を育てようとしている。	3.2	3	-0.2
10	屋久島高校は教育方針・努力目標等をわかりやすく伝えている。	3.0	2.9	-0.1
11	屋久島高校は社会ルールやモラルを守る態度を育てると共に、生命を大切にする心の教育に努めている。	3.1	2.9	-0.2
12	屋久島高校は教育環境の整備に努めている。	3.3	2.9	-0.4
13	屋久島高校は開かれた学校づくりに努めている。	3.3	3	-0.3
14	屋久島高校は説明責任を果たしている。	3.1	2.8	-0.3
15	屋久島高校は保護者や地域に対し、教育活動に関する情報提供に努めている。	3.2	2.9	-0.3
16	屋久島高校はPTA活動を活発に行っている。	2.8	2.8	0.0
17	屋久島高校生は勉強に一生懸命取り組んでいる。	3.0	2.8	-0.2
18	屋久島高校生は部活動に一生懸命取り組んでいる。	3.3	3	-0.3
19	屋久島高校生はボランティア活動に積極的に取り組んでいる。	3.4	3	-0.4
20	屋久島高校生の服装・容儀はしっかりしている。	3.6	3	-0.6
21	屋久島高校生は公共マナーに関する認識がしっかりしている。	3.3	2.8	-0.5
22	屋久島高校生の交友関係は高校生として適切なものである。	3.2	3	-0.2
23	スタディサブリが屋久島高校生の学習を支援するツールになっている。	3.0	2.9	-0.1
24	スタディサブリが屋久島高校生の教育活動に関する情報提供ツールになっている。	3.1	2.9	-0.2

職員 質問項目 回答率 (100%)		R5	R6	前年度比
1	校訓「敬愛・互譲・協力」(求める生徒像)の実現をめざして様々な教育活動を推進している。	3.9	4.1	0.2
2	担任や教育相談係等との連携を図るなど、教育相談の日常化への努力をしている。	4.3	4.4	0.1
3	教科や部活動等を通して、問題をかかえる生徒をはじめ、日頃から積極的に各生徒に声かけをするなど、生徒とのコミュニケーションづくりに努力している。	4.2	4.4	0.2
4	生徒が下校時刻を守るように指導している。	4.1	4	-0.1
5	宅習時間の増加のための工夫をして指導している。	3.9	3.5	-0.4
6	チャイムと同時に授業を始め、分かる授業をめざし工夫改善に心がけている。	4.4	4.3	-0.1
7	課題提出の徹底をはじめ、学力向上を目的に個に応じた適切な指導に努めている。	4.1	3.8	-0.3
8	学力向上等の手立てについて教科・教職員間での連携に努めている。	4.0	4.1	0.1
9	教育機関の講座や研修会への積極的参加など自己研鑽の努力をしている。	3.8	3.8	0.0
10	自らの挨拶の励行、マナーの向上及び人権感覚の高揚などに努めている。	4.3	4.6	0.3
11	生徒の健康管理や日頃の美化活動の推進に取り組んでいる。	4.1	4.3	0.2
12	安全指導の徹底及び事故発生時の対応・訓練、緊急連絡体制の確認をしている。	4.1	4.1	0.0
13	生徒が安全で楽しい学校生活を送れるよう、施設整備の点検や教育環境の充実に努めている。	4.2	4.2	0.0
14	屋久島高校グランドデザインに示した資質・能力に努めている。	4.0	3.9	-0.1
15	探究活動の指導に積極的に取り組んでいる。	3.8	3.9	0.1
16	校務分掌に対し、創意工夫(改善の視点)である業務遂行を心がけている。	4.3	4	-0.3
17	普通科・情報ビジネス化の特色が発揮される教育課程や学習指導を行っている。	4.1	4	-0.1
18	生徒が自己実現を図れるよう、計画的な進路指導の推進に努力している。	4.0	4.1	0.1
19	様々な教育活動を通して、ICT機器の活用など、情報に関する諸能力の育成に心がけている。	3.8	4	0.2
20	今日の教育動向や学習指導、進路指導、生徒指導等に関する最新情報の収集に努めている。	4.0	4	0.0
21	学級活動や部活動等あらゆる機会において、生徒理解への努力している。	4.4	4.3	-0.1
22	生徒の登下校時のマナーや交通ルールの意識向上の指導の努力をしている。	4.1	3.9	-0.2
23	服装頭髪や基本的生活習慣の向上のための指導の努力をしている。	3.9	3.7	-0.2
24	様々な方法で保護者との連携を深め、信頼の構築に努めている。	3.9	3.9	0.0
25	生徒や保護者・来訪者に対して、常に親切な対応を心がけている。	4.4	4.4	0.0
26	文書管理等の保管・整理を確実にやっている。	4.2	4	-0.2
27	学級会計・部費会計等について計画的な予算執行を行うとともに、相互点検による適正な会計処理を行っている。	4.4	4	-0.4
28	スタディサブリが生徒の学習を支援するツールとなっている。	3.6	3.5	-0.1
29	スタディサブリを授業や課題など様々な教育活動で積極的に活用している。	3.4	3.1	-0.3
30	基本的生活習慣の確立に努めている。	4.3	3.6	-0.7
31	主体的に学習に取り組む姿勢を育てることに努めている。	4.3	4.1	-0.2
32	自分の将来に夢を抱き、その実現に向けて努力する姿勢を育てることに努めている。	4.2	4	-0.2
33	中堅学年としての自覚を持たせることに努めている。	4.2	4.1	-0.1
34	学力水準の向上に努めている。	4.2	4.1	-0.1
35	豊かな人間性を育み、最高学年としての自信と誇りを持たせることに努めている。	4.1	4	-0.1
36	主体的な学習意欲の喚起し、進路目標実現に向けた基礎力・応用力の育成に努めている。	4.3	4.2	-0.1

【傾向分析】

①生徒アンケート 傾向と分析

回収率は 84.2 %であった(R5 は 78.3 %)。昨年度と比較すると 16 項目中 15 項目が昨年度同様または上昇しており、概ね良好であるといえる。特に質問 1「毎日の授業にしっかり取り組んでいる。」の回答が 0.2 ポイント上昇していることが顕著である。職員の授業への創意工夫が実ってきている証左であり、これを励みに今後も精進していきたい。

一方で唯一ポイントを下げたものは、質問 3「提出物は期限までに提出している。」であり、昨年と比較し、0.3 ポイント下降している。多様な生徒への対応として、提出期限を柔軟にしている教科がほとんどであり、生徒にとっては「守れていない」と自己評価した結果に至ったと考えられる。

②保護者アンケート 傾向と分析

回収率は 52.1 %であった(R5 は 26.7 %)。昨年度と比較し、全項目が下降した。特に質問 20「屋久島高校生の服装・容儀はしっかりしている。」(-0.6 ポイント)、質問 21「屋久島高校生は公共マナーに関する認識がしっかりしている。」(-0.5 ポイント)が大きく下降している。校則を変更した影響も考えられる。指導に努めたい。回収率アップの方法を模索し、来年度につなげていきたい。

③職員アンケート 傾向と分析

回収率は 100 %であった(R5 同様)。昨年度と比較し、下降傾向の項目が 36 項目中 21 項目あった。特に質問 30「基本的生活習慣の確立に努めている」(-0.7 ポイント)、質問 5「宅習時間の増加のための工夫をして指導している」(-0.4 ポイント)の下降が目立つ。質問 30「基本的生活習慣の確立」については、1年生の職員のみに回答してもらっている項目である。定期的に実施していた集団型の服装頭髪検査を廃止し、学校生活の様々な場面で指導をしていくスタイルに変更したことの影響が考えられる。検討していきたい。質問 5 に関しては、「スタディサブリ」を使用した配信に力を入れている関係で、自身の「工夫」とみなさなかった職員が複数いたようである。生徒の自宅学習時間の振り返りは昨年と変わらず良好であり、自宅学習時間にも差は無い。職員自身が自身に厳しい評価をしているようである。

上昇した項目は、質問 10「自身の人権感覚の高揚」が 0.3 ポイント、質問 1「校訓の実現をめざした教育活動の推進」、質問 11「生徒の健康管理・環境美化」、質問 3「生徒とのコミュニケーション」、質問 19「I C T機器の活用と情報に関する諸能力の育成」がそれぞれ 0.2 ポイントである。これらは、職員にスクールポリシーを意識することが浸透している証左である。また、人権感覚の向上や的確な生徒支援ができていることは、職員研修等の効果がうかがえる。今年度は I C T機器の活用に関心をもち、職員自身の自信につながっているようで効果を感じられた。

④その他

・例年、過年度比較のため、質問項目を極力変更せずに実施してきたが、来年度から時代や現状に即した質問項目に改めたい。

令和6年度 第2回学校関係者評価委員会および
信頼される学校づくりのための委員会 議事録

鹿児島県立屋久島高等学校

1 日 時 令和6年2月13日(木) 10:25~11:35

2 場 所 本校会議室

3 出席者(計11名)

(1) 評価委員(4名)

・本校PTA会長、同窓会長、屋久島町教育委員、中央中学校長
(当日欠席:女性団体連絡協議会会長)

(2) 学校側出席者(7名)

・校長、教頭、事務長、教務主任、進路指導主任、生徒指導副主任、保健副主任

4 会 順

(1) 開会のことば

(2) 校長あいさつ

(3) 学校概況について(教頭)

ア 本年度の生徒募集の取り組みと本年度志願状況について

イ 各種大会、検定等の実績、進路状況について

ウ 保護者による学校評価アンケート分析

エ 職員による自己評価アンケート分析

オ 生徒による自己評価アンケート分析

カ 信頼される学校づくりを目指して

(4) 活力と潤いに満ちた特色ある学校づくりのために

ア 教務部

イ 進路指導部(p7の卒業予定者の進学・就職状況の説明も含む)

ウ 生徒指導部

エ 保健部

オ スクールポリシーについて

(5) 協議

(6) 連絡事項

(7) 閉会のことば

5 協議における評価委員からの感想・質問等

(矢野 PTA 会長) 募集に関して、南部の中学生が屋久島高校を希望することが少ない。保護者から保護者への魅力発信が必要だと思っている。PTAとしても、新役員の方々と検討していきたい。

アンケートについて、保護者アンケートの評価の低下は、自分の子どもに対しての評価になるので良い評価にはなりにくいのではないかな。

スタサプの重要性は引き継ぎしていきたい。

生徒の挨拶について、「挨拶をしない」と感じている保護者もいた。

歯科等だけでなく、その他の身体のことについても卒業前に受診を促していただけるとありがたい。

(榎同窓会長) 男女交際について、通学時などに目につくことがある。一般の方からのご指摘もあるので指導をお願いしたい。

町としてGIGAスクール構想等との繋がりも含めて、スタサプの継続を町議会会員としてもお願いしていきたい。

町としての運動はなくなったが、学校独自として挨拶運動は継続してほしい。

(町教育委員鹿島さん) ブログ等の更新は、島外への発信等に役立っているのではないかな。地域みらい留学の説明会への参加者増加はうれしいが、入学後のサポートをどのようにしていくかを検討していくことが必要ではないかな。学校だけでなく、地域等やPTAも含めてサポートしていければと思う。

制服について、制服で学校を選ぶわけではないと思うが、動機の一部になることはあると思うので変更について検討してほしい。

生徒アンケートはどのツールでアンケートを取ったのか、回答率が100%ではない理由は何かな。(教頭回答: 長欠者や回答のタイミングが合わない生徒がいたため。)

保護者アンケートの服装等への評価の低下については、校則改定についての周知が足りないのではないかな。どのような変更がなされているのか、周知が広まると保護者の認識も変わるのではないかな。

中学生の募集について、以前は放課後の会議室の解放時間が夜遅くまでだったが、短縮された。無くなるのは保護者として不安かもしれないので、入学後にスタサプ等のアピールを増やしていけば、保護者としては安心すると思う。

(中央中学校脇校長先生) アドミッションポリシーについて、中学校としても共通要項にあるような生徒を育てていきたい。

スタサプも継続をお願いしたい。中学校では学びポケットの活用している。小学校からの基本的な学習から高校入試まで対応している。中学校までに学ぶ基礎がつくことが、スタサプ等を活用した主体的な学習に繋がっていくのではないかなと思う。

中央中学校からの進学者も屋久島高校への進学者が多い。現状として、鹿児島市内の私立高校受験も厳しくなっている、屋久島高校一本の生徒も増えてきている。

その他

(榎同窓会長) 今後、空調関係の補助が県からでることになると昨日聞いた。しかし設置時の残高がまだまだあるとも聞いている。今後、同窓会、PTAも協力して検討していく必要がある。学校評価委員の皆様からも評価票を提出いただいた。良好な評価であった。